表4．2 吉野川魚介類の確認状況（既存調査結果）（2／4）

項目・分類・科・種名			調査地点	早明浦ダムST湖3	早明浦ダムST湖2	池田ダムST5	池田ダムST2	三好大橋	青石橋	脇町潜水橋	穴吹橋	阿波麻植大橋	高瀬橋	田宮
その他	魚類	コイ科	スゴモロコ属（Squalidus属の一種）					○	○			○	○	
		コイ科	ニゴイ（Hemibarbus）属			○	○	○	○		○	○	○	
		コイ科	ニゴイ類					○	○	○		○	○	
		コイ科	コウライニゴイ				○	○	○	○	○	○	○	
		コイ科	タイリクバラタナゴ					○	○			○	○	
		コイ科	タナゴ属										○	
		コイ科	ヤリタナゴ										○	
		コイ科	コイ科の一種					○						
		ドジョウ科	シマドジョウ					○	○	○	○	○	○	
		ドジョウ科	スジシマドジョウ									○		
		ギギ科	アカザ							○				
		ギギ科	ギギ			○	○	○	○	○	○	○	○	
		アナゴ科	マアナゴ											○
		トウゴロウイワシ科	トウゴロウイワシ科											○
		ボラ科	コボラ											○
		ボラ科	セスジボラ											○
		ボラ科	メナダ											○
		ボラ科	メナダ属（Chelon属の一種）											○
		ボラ科	ボラ科											○
		タイワンドジョウ科	カムルチー									○	○	
		サヨリ科	サヨリ											○
		メジナ科	メジナ											○
		シマイサキ科	コトヒキ											○
		シマイサキ科	シマイサキ											○
		スズキ科	スズキ											○
		バス科	ブラックバス	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
		バス科	ブルーギル	○			○						○	
		キス科	シロギス											○
		タイ科	キチヌ											○
		タイ科	クロダイ											○
		タイ科	マダイ											○
		アジ科	ギンガメアジ											○
		アジ科	オニヒラアジ											○
		アジ科	ロウニンアジ											○
		アジ科	コバンアジ属											○
		アジ科	ヨロイアジ属（Carangoides属の一種）											○
		ヒイラギ科	ヒイラギ											○

表4．2 吉野川魚介類の確認状況（既存調査結果）（3／4）

項目・分類・科・種名			調査地点	早明浦ダムST湖3	早明浦ダムST湖2	池田ダムST5	池田ダムST2	三好大橋	青石橋	脇町潜水橋	穴吹橋	阿波麻植大橋	高瀬橋	田宮
その他	魚類	イソギンポ科	イダテンギンポ											○
		ハゼ科	アカオビシマハゼ											○
		ハゼ科	アベハゼ											○
		ハゼ科	ウキゴリ										○	
		ハゼ科	ウロハゼ											○
		ハゼ科	エドハゼ											○
		ハゼ科	カワヨシノボリ			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ハゼ科	ゴクラクハゼ	○	○									○
		ハゼ科	タビラクチ											○
		ハゼ科	チクゼンハゼ											○
		ハゼ科	トビハゼ											○
		ハゼ科	ドンコ				○	○	○	○	○			
		ハゼ科	チチブ											○
		ハゼ科	ヌマチチブ	○	○			○	○		○	○	○	○
		ハゼ科	ハゼ科											○
		ハゼ科	ヒメハゼ											○
		ハゼ科	ビリンゴ											○
		ハゼ科	マハゼ											○
		ハゼ科	ミミズハゼ											○
		ハゼ科	ミミズハゼ属（Luciogobius属の一種）											○
		ウミタナゴ科	ウミタナゴ											○
		カワハギ科	カワハギ											○
		マフグ科	クサフグ											○
		マフグ科	フグ類											○
		カサゴ科	カサゴ											○
		フサカサゴ科	メバル											○
		アイナメ科	クジメ											○
		コチ科	マゴチ											○
		コチ科	コチ属（Platycephalus属の一種）											○
		カレイ科	イシガレイ											○
	甲殻類	ヌマエビ科	ミナミヌマエビ				○	○	○	○	○	○	○	
		ヌマエビ科	ミゾレヌマエビ										○	
		クルマエビ科	クルマエビ											○
		クルマエビ科	ヨシエビ											○
		クルマエビ科	クマエビ											○
		テナガエビ科	スジエビモドキ											○
		テナガエビ科	シラタエビ											○
		テッポウエビ科	Alpheus属の一種											○

表4．2 吉野川魚介類の確認状況（既存調査結果）（4／4）

項目・分類・科・種名			調査地点	早明浦ダムST湖3	早明浦ダムST湖2	池田ダムST5	池田ダムST2	三好大橋	青石橋	脇町潜水橋	穴吹橋	阿波麻植大橋	高瀬橋	田宮
その他	甲殻類	エビジャコ科	エビジャコ											○
		ｱﾒﾘｶｻﾞﾘｶﾞﾆ科	アメリカザリガニ							○		○	○	
		ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ											○
		イシガニ科	イシガニ											○
		イワガニ科	ハマガニ											○
		イワガニ科	クロベンケイガニ											○
		カラッパ科	アミメキンセンガニ											○
		カラッパ科	キンセンガニ											○
		サワガニ科	サワガニ				○	○						
		スナガニ科	シオマネキ											○
		ワタリガニ科	ガザミ											○
	貝類	サカマキガイ科	サカマキガイ				○							
		タニシ科	オオタニシ						○					
		カワニナ科	カワニナ					○	○					
		カワニナ科	チリメンカワニナ						○		○			
		モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ				○							
		リンゴガイ科	スクミリンゴガイ							○		○	○	
		アクキガイ科	アカニシ											○
		イガイ科	クログチガイ											○
		イガイ科	コウロエンカワヒバリガイ											○
		イタボガキ科	マガキ											○
		シオサザナミガイ科	シオサザナミガイ科の一種											○

※分類体系は山渓カラー図鑑日本の淡水魚（山と渓谷社,1989）・学研生物図鑑魚類（学習研究社, 1983）・新日本動物図鑑（中）（北隆館,1965）等を参考とした。

データの出典：
調査機関・名称・年度

国土交通省、河川水辺の国勢調査、2001年度（7月・9月）調査 （早明浦ダム）
国土交通省、河川水辺の国勢調査、2001年度（7月・11月）調査 （池田ダム）
国土交通省、河川水辺の国勢調査、1996年度（8月・10月）、2001年度（8月・10月）調査

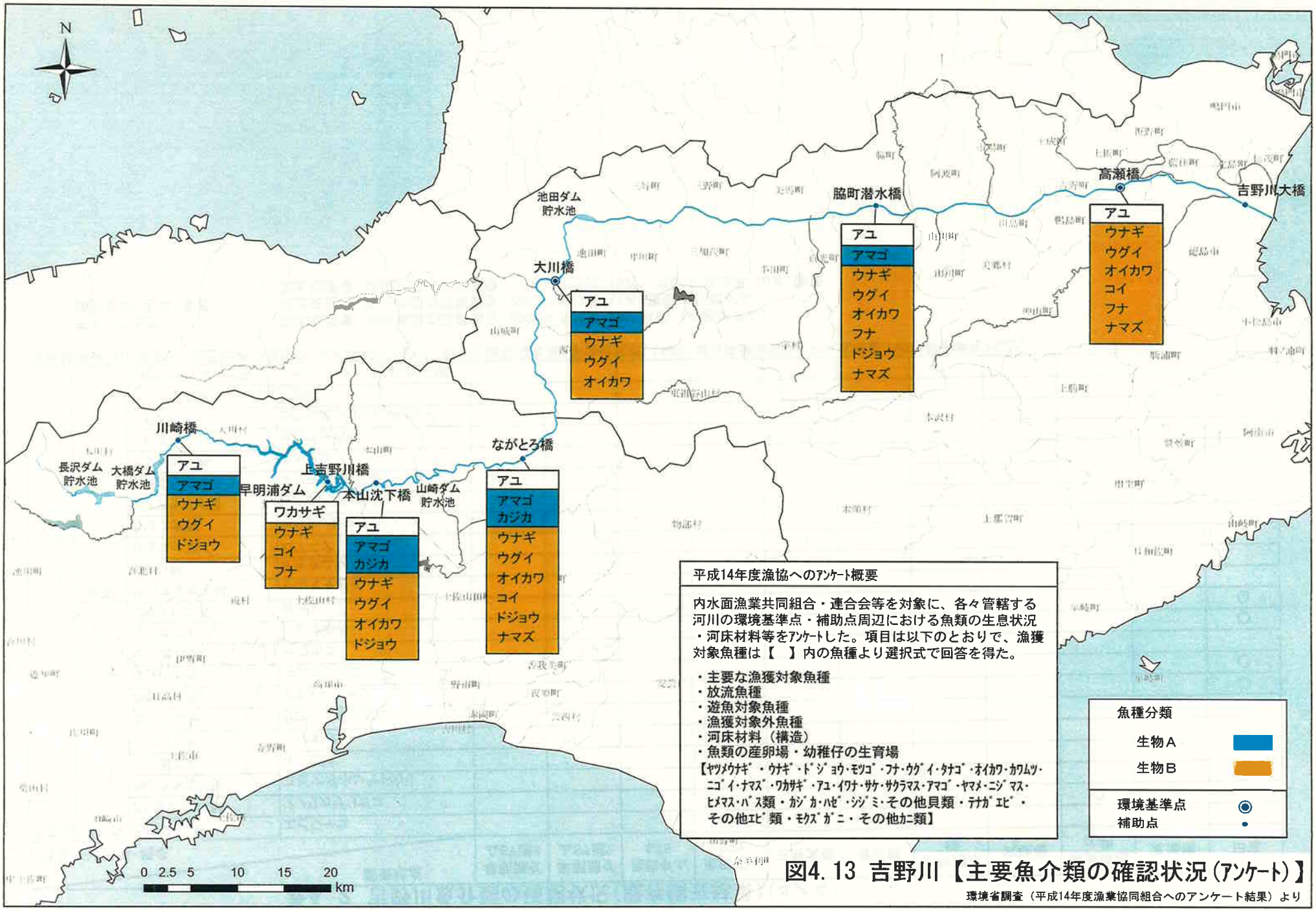
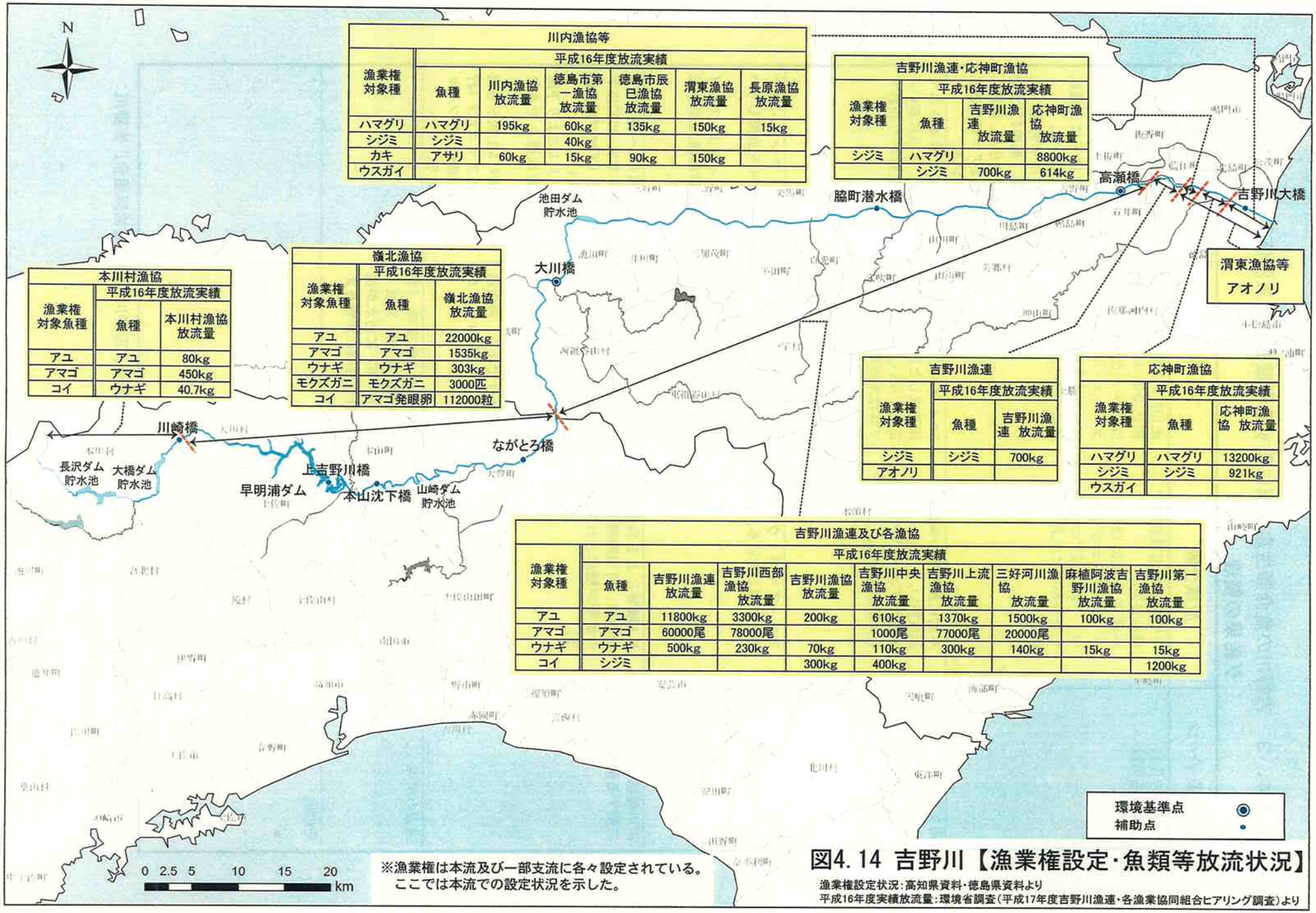


図4.13 吉野川【主要魚介類の確認状況（ｱﾝｹｰﾄ）】

環境省調査（平成14年度漁業協同組合へのアンケート結果）より



※漁業権は本流及び一部支流に各々設定されている。
ここでは本流での設定状況を示した。

川内漁協等						
漁業権対象種	平成16年度放流実績					
	魚種	川内漁協放流量	徳島市第一漁協放流量	徳島市辰巳漁協放流量	渭東漁協放流量	長原漁協放流量
ハマグリ	ハマグリ	195kg	60kg	135kg	150kg	15kg
シジミ	シジミ		40kg			
カキ	アサリ	60kg	15kg	90kg	150kg	
ウスガイ						

吉野川漁連・応神町漁協			
漁業権対象種	平成16年度放流実績		
	魚種	吉野川漁連放流量	応神町漁協放流量
シジミ	ハマグリ		8800kg
	シジミ	700kg	614kg

本川村漁協		
漁業権対象魚種	平成16年度放流実績	
	魚種	本川村漁協放流量
アユ	アユ	80kg
アマゴ	アマゴ	450kg
コイ	ウナギ	40.7kg

嶺北漁協		
漁業権対象魚種	平成16年度放流実績	
	魚種	嶺北漁協放流量
アユ	アユ	22000kg
アマゴ	アマゴ	1535kg
ウナギ	ウナギ	303kg
モクズガニ	モクズガニ	3000匹
コイ	アマゴ発眼卵	112000粒

吉野川漁連		
漁業権対象種	平成16年度放流実績	
	魚種	吉野川漁連放流量
シジミ	シジミ	700kg
アオノリ		

応神町漁協		
漁業権対象種	平成16年度放流実績	
	魚種	応神町漁協放流量
ハマグリ	ハマグリ	13200kg
シジミ	シジミ	921kg
ウスガイ		

吉野川漁連及び各漁協									
漁業権対象種	平成16年度放流実績								
	魚種	吉野川漁連放流量	吉野川西部漁協放流量	吉野川漁協放流量	吉野川中央漁協放流量	吉野川上流漁協放流量	三好河川漁協放流量	麻植阿波吉野川漁協放流量	吉野川第一漁協放流量
アユ	アユ	11800kg	3300kg	200kg	610kg	1370kg	1500kg	100kg	100kg
アマゴ	アマゴ	60000尾	78000尾		1000尾	77000尾	20000尾		
ウナギ	ウナギ	500kg	230kg	70kg	110kg	300kg	140kg	15kg	15kg
コイ	シジミ			300kg	400kg				1200kg

図4.14 吉野川【漁業権設定・魚類等放流状況】

漁業権設定状況：高知県資料・徳島県資料より
平成16年度実績放流量：環境省調査（平成17年度吉野川漁連・各漁業協同組合ヒアリング調査）より

表４．３　吉野川の魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果の整理

対象ゾーン	流域全般	下・中流	中・上流
魚介類の生息に関する情報	・「資料」の出現魚種で概ね妥当。 ・本流の上流にはアマゴ・イワナ・ニジマス、中・下流にはアユ・ウナギ等が主に生息している。	・池田ﾀﾞﾑ下流～河口の本流に分布する主な魚種はアユ・ウナギ・ナマズ・ハス・ウグイ・コイ。 ・アマゴは支流に生息、本流に生息してない。	・本流上流に分布するする主なサケマス類はアマゴ・イワナ・ニジマス。 ・イワナは主に支流に生息している。 ・アマゴは早明浦ﾀﾞﾑ上流下流、池田ﾀﾞﾑまでの本流に生息。池田ﾀﾞﾑ下流はアユの生息に適している。
再生産に関する情報	・本流に産卵等の保護水面は無い。 ・本流でアユ・アマゴが再生産している。	・3～4 年前まで人工産卵床造成したが、現在は対応してない。 ・アユは本流の緩流域、水深 1～2m の小石・じ砂利地で産卵。 ・アマゴは支流の砂地で産卵。	・アマゴは放流されているが、本流においても再生産が行われている。
放流に関する情報	・アユ・アマゴ・ウナギ等を放流している。	・アユ・アマゴ・ウナギ等を放流している。 ・アユ放流量は吉野川全体で年 20 トンで、漁獲アユの 99%が天然アユで放流アユは 1%程度である。	・アユ・アマゴ・ウナギ・コイを放流している。 ・過去にイワナ・アマゴ発眼卵埋設放流を実施した。
河川環境に関する情報	・ﾀﾞﾑ堰等による魚類の生活史、河川環境等への影響が懸念されている。	・洪水時、池田ﾀﾞﾑの放水により汚泥が下流に流れて底生性生物に影響が及ぶ。 ・ﾀﾞﾑ以外に第十堰・魚道なども生物相の障壁となっている。 ・放流だけでなく、再生産しやすい河川つくりが必要。	・早明浦ﾀﾞﾑ～池田ﾀﾞﾑは夏季水温 22℃以下である（アマゴが生息しやすい）。 ・早明浦ﾀﾞﾑにより下流の魚類は遡上できない。 ・早明浦ﾀﾞﾑ上流から流下したアマゴはﾀﾞﾑ貯水池で銀化（サツキマス）する。
過去の情報		・早明浦ﾀﾞﾑ建設時（着工：昭和 38 年、完成：昭和 50 年）に汚水が流れ、底生生物に影響与えた。	
その他	・放流魚と天然魚の判別は困難である。 ・各魚種の生活様式等があるので魚類分布による国一律の類型区分は困難。 ・水温は年平均だけでなく、季節別・月別等で見ることが必要。		

※　環境省調査（徳島県立博物館、高知県内水面水産試験場、吉野川西部漁業協同組合、吉野川漁業協同組合への平成 16 年度ヒアリング調査）